

青梅・吉野梅郷 梅の里再生・梅の苗木 植栽プロジェクト



助成区分

植栽

環境保全

調査・
研究

教育・
啓蒙

実施状況

参加者数

17人

参加者満足度

100%

活動の全体目標に
対する達成度

100%

課題

- ◇東京都青梅市の吉野梅郷地区の梅に、平成21年、国内初となる植物ウイルス「ウメ輪紋ウイルス」(プラムポックスウイルス)が発生。
- ◇平成26年3月に梅の木が全伐採された。
- ◇ウイルス防除対策の結果、平成28年度中に梅の木の植栽が可能になった。
- ◇10年かかるであろうと言われている吉野梅郷の梅の里再生を、一日も早く成し遂げたい。

活動内容

- ◇梅の苗木の植栽
梅の苗木を購入し、苗木を吉野梅郷地区の畑に植栽する。
- ◇イベントの開催
梅の苗木の植栽に参加していただいた植栽ボランティアの方々に「梅の里再生祭り」にも参加していただく。

成果

- ◇梅の苗木の植栽
・全伐採前に梅の木が25,000本あったが、私たちが植栽した106本を含め、2,600本の梅の苗木の植栽が完了した。
・国から示された指針のもと、造園技術者の方に指導していただきながら、植栽できることにより、植栽への知識、技術を高めることができた。
- ◇イベントの開催
・多くの方々にイベントにご来場いただき、植栽後の畑や梅の公園を観梅していただいた。
・ご来場者に、梅の里再生の現状をお伝えすることができた。
・植栽が可能になったこと、私たちの活動を多くの方々にご理解いただいた。

工夫した点

- ◇他の農家の方から、他の畑に植栽したの苗木の状況が良くないという情報があり、苗木を水に浸しておいたため、苗木をいい状態で植栽することができた。
- ◇造園技術者の方に指導していただきながら植栽ができたため、効率よく植栽を行うことができた。

今後の課題

- ◇植栽した106本のうち、約3割が苗木と土などの関係で枯れてしまった。他の畑の苗木についても、同様ですが、造園技術者の方と連携をとりながら、枯れないような対策をしていきたいと思ひます。
- ◇現在、植栽できるエリアが農林水産省、青梅市の方針で限定されているため、今後とも、農林水産省、青梅市の方針を確認しながら、植栽を進めていきたいと思ひます。